

## 箱根火山（大涌谷）の現状

箱根・大涌谷ですが、火山性地震は6月29日の小噴火の日には500回以上を数えましたが、7月10日以降は最大でも30回ほどで、ここ数日は10回以下にまで低下しています。

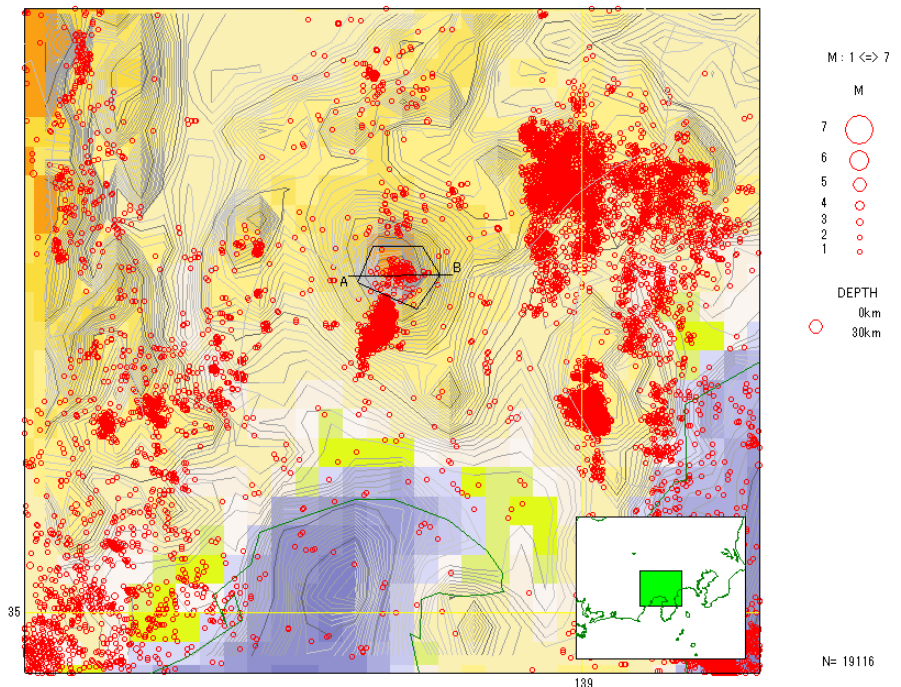
地震活動については相当低下し、ある意味通常とほとんど変わらない状況になりつつあります。問題は火山ガスで、特に硫化水素（ $H_2S$ ）、二酸化硫黄（ $SO_2$ 、いわゆる亜硫酸ガス）等の噴出量が減らないことが問題となっています。これが低下しないと規制レベルを下げる事が出来ません。

2000年の三宅島噴火でも噴火自体はすぐに収まったと言えますのですが、その後、二酸化硫黄ガスが噴出し続け、島民が帰島できたのは噴火からおおよそ5年後でした。このように火山活動の場合、いかに収束したかの判断が難しいという事なのです。

1996 01/1 0:0 -- 2015 7/24 23:59

## 富士山の状況

箱根火山の活動活発化に伴い、「富士山はどうなの」という事がよく話題になります。今回は過去15年ほどの富士山直下で発生した地震数の変遷を見てみたいと思います。下の図は1996年から2015年7月24日までの、富士山直下の月別地震回数です。2000年後半に活動度が上昇したことはよく知られています。



2015年の4月にも確かに少し活動度が上昇しましたが、現在、何か特別な状況になっているということはありません。富士山も箱根火山の影響を受けて、登山者が減っている（風評被害）ようですが、現時点では大丈夫です。

